



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

仙台青葉城ワイズメイズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi, 〒980-0822
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内
TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2017~2018年度 主題 ==

国際会長【ともに、光の中を歩もう】Henry Grindheim (ノルウェー)
アジア地域会長【ワイズ運動を尊重しよう】Tung Ming Hsian (台湾)
東日本区理事【広げよう ワイズの仲間】栗本 治朗 (熱海)
北東部部長【距離に負けるな北東部 各クラブの個性を磨きましょう】鈴木伊知郎 (宇都宮東)
クラブ会長【**続** 楽しいことを数えよう!】加藤 重雄 (仙台青葉城)

VOL. 413

2017年12月

EMC/MCの月

<今月の聖句>

私は山に向かって目を上げる。私の助けはどこから来るのだろうか。

私の助けは天地を造られた主から来る。

(詩篇 121 章 1 節~2 節)

巻頭言



「すべての人のクリスマス」

川上 直哉



「そのように怖がっているのはやめて、よく聞け。この国民すべてにとっての大いなる喜びとなるべきよき知らせをもって罷り越した。そなたらのために、今日、ダビデの村にお助けさまがお生まれなされた。このお方こそ、尊き油を身に受けて世を救うなる御あるじなれ。そなたらは、飼葉桶の中に産衣に包まり、寝ている赤子を見るであろうが、それが目印ぢや。」(新約聖書「マタイによる福音書」山浦玄嗣訳より)

二年前から、全世界的な「年末の風物詩」になったものがあります。映画「スターウォーズ」です。配給がディズニーに変わったのだそうで、とても見やすく、わかりやすいものになったようです。今年は、「エピソード8」となっています。「1・2・3」「4・5・6」と三つずつシリーズ化されて、今は「7・8・9」となり、毎年年末に世界中で新作が公開されるようになっています。

このスターウォーズですが、「エピソード1」からの最初の三部作が、評判が悪いようです。「わかりにくい」と。最近、その解説を聞きました。「わかりにくい」のは、「正義と悪のものがたり=勧善懲悪物語」と思い込むから、なのだそうです。物語は「正義と悪」ではなく、「光と闇」の物語であって、その「調和」をもたらすことを目指して物語世界は進む。光が正義とは限らず、闇が悪とは限らない。光があれば、そこには必ず闇がある。光が強くなれば、闇も(ちいさくなくても)色濃いものとなる。ヒッピー文化やベトナム戦争を背景に生まれた「スターウォーズ」という物語は、もともと、そういう思想を背景にしているのだそうです。=次頁に続く=

11月例会				B F		スマイル	
会員数	12名	メネット	5名	切手	kg	今月(11月)	16,000円
出席者	8名	ゲスト	3名	現金	0円	累計	57,600円
Make-Up	0名	出席率	67%	累計	0円	ファンド	円

会長 加藤 重雄
副会長 南澤 一右
書記 車塚 潤
会計 涌澤 博
直前会長 加藤 重雄
メネット会長 加藤 真子
担当主事 伊藤 雅宣

今は、クリスマスです。光の中で天使が現れ、羊飼いたちに「救い」を告げる。有名なシーンがあちこちで歌われ、あるいは映像化されて飾られています。

聖書の物語の中では、この場面で羊飼いたちは恐怖に怖じ惑います。聖書の時代の舞台となった地域で、羊飼いは、現代でいうところの「非正規雇用者」「シングルマザー」「就職氷河期世代」「前科者」等々という「社会的弱者」だったのです。新しい福祉が整備される、税制が改正される、など、いろいろな「改革」が行われるたびに、いつも「取り残される」人々でした。そういう人は、強い光を見ると、恐れを感じるのです。また、取り残されるのだらう。問題は解決したように思われて、自分たちは忘れられるのだらう。光が生まれれば、闇が生まれる。その闇の中に、自分たちは、打ち捨てられるのだらう。

天使は、そういう羊飼いたちに語ります。「怖がることをやめろ」と。闇を残すことで成立する光のような、そんなものではない、本物の救いがやってきた。証拠もある。世間から追い立てられ、誕生を望まれなかった赤ちゃんが、今日、無事に生まれたのだ。そこに、世界を救う秘密がある。それを見ておいで。——天使はそう語るのです。



クリスマスです。この天使の語る秘密の謎が、教会で解き明かされる季節です。

誰かを踏みつけにする限界を乗り越えて、すべての人が平和に暮らせる世界を思い出す季節です。寒い季節に、温かな思いがすべての人を照らしますように、祈りたいと思います。



11 月第一例会(移動例会)報告

日時:11 月 19 日(日)15:00~17:00

場所:井上勇二郎邸

出席者:(メン、ウイメン)金原、加藤、佐藤、涌澤、南澤、川上、井上、菊地

(メネット)金原、加藤、涌澤、南澤、井上

(コメット)涌澤、南澤、井上 2 人、

(ビジター)清水弘一、井上修三ご夫妻以上、20 名

11 月の例会は、予めよりメンバーの井上ワイズが今年 6 月にご自宅を新築され、そのお祝いを兼ね、「押し掛け移動例会」と相成った。空間の使い方や応接間、居間の位置、子どもの成長を考慮した部屋造り等、くつろぎ感に満ちていました。

おめでとうございます！会長は、まるで旅館に来たような気持ちです、と挨拶。

今回の移動例会は、メンバースピーチということで、各自が今はまっている事柄について会話を交えながらお話しを頂きました。以下、掻い摘んで報告いたします。

南澤コメットは、今年高一で、茶道クラブに所属。涌澤コメットは、鉄道ボランティアに所属(JR 東日本)。井上コメット(三女)は、剣道。井上メンは、地区の消防団員活動を、川上メンは、来年以降も仙台で教会の活動をする事が決まったこと(何故かホットする)

…etc。親は子どもに干渉しない事や、子どもの前で夫婦喧嘩は良くないという結論に至った。

みんな納得する…。

連絡報告: 12 月 1 日仙台市民会館にて第 46 回仙台 YMCA クリスマス(涌澤実行委員長)

・12 月 3 日仙台 YMCA4 階にて仙台 YMCA 職員クリスマス
・12 月 15 日石巻広域クリスマス例会(石巻グランドホテル)
・12 月 16 日仙台 YMCA 会議室で常議員会/メトロポリタン 3 階「藤の間」でブランディング研修会並びに感謝会
・12 月 16 日旭ヶ丘児童館クリスマスコンサート
・12 月 23 日国際・地域協力募金(三越前他)/仙台青葉城クリスマス例会

報告:菊地弘生



* 例会の部屋は床暖房の温かなフロアで、その隣りは和室。その部屋は将来両親(井上ワイズ・メネット)との同居を考えて造ったということを後に聞きました。井上家の幸せを祈って乾杯！

12月第二例会報告

日時: 12月7日(木) 18:45~20:30

場所: 仙台YMCA203教室

出席者: (メン、ウイメン)加藤、川上、菊地、佐藤、
涌澤、(メネット)加藤、金原

報告・議事

- 12/1 仙台YMCAクリスマス 涌澤実行委員長、
メネット会の調理担当の立場より報告
- 11/25 メネットの集い報告 加藤メネット
- 12/23 地域国際協力街頭募金 13:30~15:00
- 12/23 クリスマス例会について
会場: 仙台YMCA 203教室にて
食事、プログラム等について協議
- 1月の第二例会日を1/11(木)とする
- 1/26 4クラブ合同例会(石巻)
18:30~ 石巻グランドホテルにて
- 2018年9/22(土) 涌澤北東部部長
北東部会並びに仙台クラブ70周年記念例会
- アジア太平洋地域大会「テーマ」について



仙台YMCAクリスマス報告

実行委員長 涌澤 博

12月1日 毎年恒例のYMCA クリスマスが開催されました。開催までに6回の実行委員会が開催され、YMCAの各施設担当者や企業、学生ボランティア、ワイズメンズクラブなど多くの方々による、念密な打ち合わせと準備により、クリスマスを開催する事ができました。

青葉城クラブのメンバーも委員会の参加をはじめ、メネットさんには段取りから当日の作業、チケット販売や企業広告、食材も協力していただきました。また川上メンにはクリスマスのメインである礼拝を担当していただき、青葉城クラブメンバーのパワーを肌で実感できたクリスマス会になりました。

お陰様で当日は440名の参加があり、うち留学生も70名の参加があり、大盛況に開催する事が出来ました。今回は、外に向かってだいたいアピールを強めました結果、参加者だけでなくボランティアとして、初めてYMCAに繋がって下さった方がたくさんいま

した。今回のクリスマスに携わった皆さまには心より感謝申し上げます。



メンバー紹介(6) 川上 直哉

1973年に北海道で生まれました。いわゆる「第二次ベビーブーム」の過当競争の末、就職氷河期に社会に出る、という世代の真ん中になります。

2010年に学位を取得し、そして牧師になりました。その翌年に、大震災となります。学位と牧師を持っていること(英語では Rev. Dr.と表記します)が、本当に役に立ちました。不思議な思いがしています。

家族は妻と長女と次女、そして兄と弟と両親が健在です。原子力災害を受けて、3年間、妻と娘たちは沖縄に住むことになりました。その3年間はちょうど、原子力災害の被災者への支援を本格化させていた時でした。不思議な思いがします。

来年から、家族と一緒に石巻に住むことになりました。石巻広域ワイズメンズクラブの大林さんが役員をなさっている日本基督教団石巻栄光教会の牧師として招聘をいただいたことでした。新しい生活・新しいミッションに不安を感じながら、家族一緒に暮らせることを心から楽しみにしています。教会は毎週日曜日の朝 10時半から礼拝をしています。地域に奉仕する拠点としての活動も展開できればと願っています。

同時に、仙台キリスト教が設立した「連合被災支援ネットワーク・東北ヘルプ」の活動も、細く長く続くこととなります。これまでのご支援を感謝しつつ、引き続きのご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



YMCAニュース

タイ農村の子どもたちの今を共有してみませんか？
あなたの働きがコミュニティの力になります！

第32回タイ農村ワークキャンプ

日程: 2018年2月25日(日)

~3月8日(木)12日間

訪問地: タイ王国パヤオ県 YMCAパヤオセンター、
メータチャン村

参加費用 180,000円

タイの抱える問題を共に考えて行きましょう。人身売買などで、今もなお、多くの子どもたちが被害に遭っています。危険の中にいる子どもたちと共に、未来の希望を見つめて進みましょう。この機会に是非チャレンジしてください。参加者募集中です。(担当 荒木・小幡)

メネットのつどい(横浜) 参加報告

加藤真子

11月25日(土)、毎年11月に開催されています東日本区のメネットが集まる「メネットのつどい」が、今年は横浜YMCAにて開催されました。生憎、仙台からは私一人の参加。もりおかクラブの井上メネットと同じ新幹線に合流して参加してまいりました。参加者は合計49名、北東部からは4名の参加でした。

震災からこの6年、被災地での開催や地方での開催が続き、久しぶりに都心部での開催となり、これまた久しぶりのバザー(プチマルシェ)も開かれ、それぞれの地域のお菓子など名物を持ち寄っての集いとなりました。

今回は、「クイリングを知って、作って、楽しんで！」と題して、初めての体験・クイリングなるものに挑戦してきました。講師は、小野史郎氏(英国クイリングギルドフェロー)から、クイリングについての歴史と説明を受け、その後、奥様の小野典子氏(英国クイリングマスター)からワークショップということで、実際に手を動かしながらオリジナルクリスマスカード作りをいたしました。

もともとは修道女たちが作っていたのが始まりとのことでしたが、造り方は、色紙を細長く切ってクルクルと棒に巻きつけ、それを棒からはずし形を整え、カードに糊付けしていきます。簡単なようで、巻き方の力加減やら押さえ方で微妙な違いができていきます。何とか一枚のクリスマスカードが完成いたしました。

皆でお弁当を楽しんだ後は、井上メネット、隣り合わせた三島クラブの相川メネットと3人で売り子となり、石巻広域クラブから預かってきた「帰ってきた小船」の絵本と、船が見つかった先のハワイのコーヒーを皆さんに買っていただき、完売いたしました。久しぶりに出会えたメネットとの交流を楽しみながら帰路につきました。



完成したクリスマスカード



後ろに並ぶクイリングのアップ撮影は禁止



新幹線から見えた富士山！

ロヒンギャ難民について

12月10日、日本基督教団石巻栄光教会にて川上ウイズが牧師の立場から講師として、昨今大きな問題になっていますミャンマーの「ロヒンギャ問題」について、宗教者の立場から「宗教って、なんでしょう」と、皆さんと考える場を持たれました。

ここで、ロヒンギャ難民について私達も一緒に考えてみたいと思います。詳細がよく分からないので、同じ講師としてお話しいただいたナセル永野さんの資料から抜粋させていただきました。

『ロヒンギャという民族を知っていますか？現在ロヒンギャの民族浄化・大量虐殺が行われていることを知っていますか？ロヒンギャはミャンマーで暮らしているイスラムを信仰する少数民族で、人口は約80万人と推計されています。1962年に誕生した軍事政権は仏教徒の国を作るためにイスラムを信仰するロヒンギャの自由を剥奪する政策を進めました。そして1982年に制定された国籍法によりロヒンギャは無国籍民となります。市民権を失ったことで劣悪な環境下での生活が強いられたロヒンギャは「世界で最も迫害された民族」

と呼ばれるようになりました。中略 ロヒンギャの迫害を先導しているの僧侶です。イラク掃討作戦の米軍指揮官が「キリストだけが正しい神だ！」と主張していたことを知っている人は非常に少ないのです・・・。

今年は宗教改革500年という節目です。この機会に今まで目を背けてきた自分の宗教が抱える凶暴性、危険性といった「負の部分」を直視し、世界の現実を再確認してみる覚悟が必要ではないでしょうか？

皆さんも是非考えてみませんか？

♪誕生日おめでとう♪

12月4日 金原 譲さん

12月8日 井上 さゆりさん



編集後記：今年も間もなく終わりです。この一年皆様にはどんな年だったでしょう？12月はクリスマス月。川上牧師の巻頭言にありますよう、すべての人が平和に暮らせる世界を思い出す季節となればと思います。

～Merry Christmas & Happy New Year～